

(様式4)

平成28年12月1日

平成28年度 第2回 大阪市立市岡中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立市岡中学校
校園長名 西川 孝治

日 時	平成28年11月30日(火) 19時00分～20時45分(1時間45分)	
場 所	大阪市立市岡中学校 多目的室	
出席者	委員など	森下 竜(会長)、近藤 馨(委員)、中村順子(委員)、山本泰子(委員) 山本久美子(委員)、貴志繁美(委員)、石川久留美(元気アップ)
	校園	西川孝治(校長)、北川延尚(教頭)、川口俊治(首席教諭)
	区役所	花立 都世司(協働まちづくり支援課 教育・人権・生涯学習担当課長)
議題	(1)「学校運営に関する自己評価(中間)」 (2)「学校評価(中間)アンケート」結果について (3)「全国学力学習状況調査」について (4)「学校元気アップ地域本部事業」について (5)学校安心ルールについて	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○「運営に関する自己評価(中間)」・「学校評価アンケート」・「全国学力学習状況調査結果」についての説明について御理解が得られた。また年度末に向けて様々なアイディアを含めたご意見を頂いた。
	(2)	○全国学力状況調査の結果は国語数学共に非常に成果が出ていることは凄い。 ○学校内では勿論のこと地域で会ってもきちんと挨拶ができる生徒達が多い。 ○自転車通学をする生徒がいない。 ○授業が成立している、行事に参加する、挨拶をするなど当たり前のことがきっちりできる学校という特色がある。
	(3)	○「いじめ等トラブルについて先生がすぐ対応してくれる」の結果についての否定的な意見を0%にする必要性がある。 ○教員アンケートも実施して欲しい。 ○強引でも策を講じて読書する習慣を身に付けさせなければ読書癖は身に付かない。 ○絵本広場などを活用するのも効果がある。 ○自学自習を身に付けさせるために、工夫を凝らした学習プリントなどを用意する。
	(4)	○石川委員より「元気アップ事業」の活動内容及び今後の動きについて理解が得られた。 ○週に7回の開館にもかかわらず図書館の利用率が低い。 ○蔵書の内容が古く、文学関連書が多い為、生徒達が読む意欲が湧く書籍に入れ替えてはどうか。 ○3年生の利用率を上げる必要がある。
協議資料	(5)	「学校安心ルール」について保護者配布・HP掲載の承認を得た。
	○「運営に関する自己評価(中間)」 ○学校評価アンケート(生徒・保護者・地域)結果 ○全国学力学習状況調査結果概要・課題分析・学校別分析シート ○学校安心ルール ○元気アップ地域本部取組報告書 ○市岡中学校今後の予定表	
備考	傍聴者[0]名	

